

第1章

子どもの育ちや学び

<幼児期の情報>

【にこにこ子育て応援ガイドのご紹介】

健診や親子教室、保育所、幼稚園など、乳幼児に関するの基本情報は、三郷市にこにこ子育て応援ガイドに掲載されておりますので、にこにこガイドをご覧くださいよう、お願いいたします。



三郷市ホームページでダウンロードできるほか、下記の場所にて配布しております。

<配布先一覧>

- ・みさとファミリー・サポート・センター
- ・北児童館・南児童センター
- ・早稲田児童センター
- ・八木郷子育て支援センター
- ・三郷中央駅前子育て支援センターにこにこ
- ・いちごサロン・ひだまり広場
- ・ひよこサロン・ばんびサロン
- ・すまいるサロン・こあらサロン
- ・きりんサロン
- ・ららほっとみさと
- ・市立図書館・早稲田図書館
- ・北部図書館

1.通園施設

発達の遅れや障がいのあるお子さんが通う施設などの紹介です。

* 統合保育 市内公立保育所

特別な支援が必要なお子さんと健常児がともに育つことができるように、統合保育を行っています。また、上口保育所、丹後保育所では、障がい児クラスも併設しています。【窓口】すこやか課 保育係 ☎048-930-7784

* 三郷市児童発達支援センター

【相談・指導】子ども発達支援センター

発達の遅れや偏りなどの心配があるお子さんについて、相談や個別指導を行っています。相談や指導は予約制です。

【窓口】子ども支援課 発達支援係 ☎048-930-7794

【児童発達支援】しいのみ学園

心身の発達や運動発达到遅れや障がいのある小学校入学前の児童に対して機能訓練・生活指導・母子指導を専門的に行い、児童の発達を促します。

新和 2-193 しいのみ学園 ☎048-952-0066

【窓口】子ども支援課 発達支援係 ☎048-930-7794

<三郷市ホームページ・ここにご三郷市子育て応援ガイドより一部抜粋>

* そのほかの児童発達支援事業所については、巻末の資料ページをご覧ください。

* 保育所入所について
入所基準は市の基準に沿った形となります。

心配なことはひとりで抱え込まないでください。スタッフと一緒に子どもへの向き合い方や子育てのヒントをつかむことができるかもしれません。お子さんに合わせたあゆみを見つけていきましょう。



毎日の生活をわかりやすくする 《カレンダーを使ってみよう》

1ヶ月の予定や1週間の予定があると、休みの日や放課後どこに行くのかなどがわかりやすくなります。
イラストや文字、写真、お子さんにわかる方法でためしてみてください。

1	2	3	4	5	6	7
日	月	火	水	木	金	土
公園	学校	学校	学校	学校	学校	家
	デイ	家	病院	デイ	家	

一日の時間の流れは縦に書きます。
学校の時間割と同じなので入学してからも時間割が入りやすいです。

ホワイトボードに直接枠を書き込んだり、印刷して貼ったり、市販のものを利用したり、気負わず簡単に出来る方法を試してみてください。

学校に行きたがらない、家で荒れている、などお子さんが困っている様子の時、日々の見通しが立っているなら、そのほかの原因を考えることができます。

《先輩保護者より…》1日の予定、1週間、1ヶ月とお子さんにわかりやすい形から始めてくださいね。使えるようになるまで何年もかかったお子さんや、言葉がほとんどなくても文字や写真でコミュニケーションを取っているお子さんもいますよ。

「わからないから…」とあきらめず、続けてみてください。はじめは1日しかわからなくても、続けているうちにだんだん理解出来るようになる場合もあります。でも始めなければ残念ながらそれまでです。そのうちわかるようになるのは難しいかもしれませんが。

続けてみると半年後、1年後に嬉しい変化があると思います。

予定を知らせて不安を減らそう 《スケジュール》

*スケジュールは1日の予定や、お出かけ先での流れを書いたものです。今日はどこに行くのか、園が終わってどこかに寄るのか、見通しが立たないことでの不安や混乱を生じることが多いと思います。家のホワイトボードに書いたものでは持ち歩きができません。簡単なもので大丈夫なので持ち歩ける形の物をおすすめします。

〇月〇日（□） 病院	
：	受付
：	診察
：	会計
：	薬局

〇月〇日（□）	
1	 はいしゃさん
2	 コンビニ
3	 家

文字が読めるなら文字で、文字がまだ難しい場合はイラストなどで知らせます。行く場所だけでなく、その場所で何をどんな順番でするのかを知りたい場合はもう少し細かく書いてあげる必要があるかもしれません。見通しが立つことで安心して治療やお出かけを楽しめることに繋がるのなら、書いてあげてくださいね。

発達障害の人達に視覚的に活用した情報提供をすることは合理的配慮です。学校やデイでもぜひスケジュールを取り入れてもらいたいと願います。